

2022年度 第6回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会 要項 (WPS 公認大会 予定)

- ◇目的 ①知的障害者の心身における健康維持・増進とともに広く社会参加への促進を図る。
②知的障害者における水泳の普及・振興に寄与するとともに、競技力向上を図る。
③知的障害者への理解啓発と福祉の向上に資する。
- ◇大会名 2022年度 第6回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会
- ◇主催 (一社)日本知的障害者水泳連盟
- ◇主管 (一社)千葉県水泳連盟
- ◇後援 (予定) スポーツ庁 / 千葉県 / 習志野市 / (公財)日本水泳連盟
(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会
(一社)日本パラ水泳連盟 / (一社)日本ろう者水泳協会
(一社)千葉県障がい者スポーツ協会 (公財)日本知的障害者福祉協会
(公社)東京都障害者スポーツ協会 / (一社)日本スイミングクラブ協会
(一社)全日本知的障がい者スポーツ協会
- ◇協力 (予定) 千葉県国際総合水泳場 / 東京YMCA社会体育・保育専門学校 / 株式会社斉藤工芸
公益財団法人日本ライフセービング協会
- ◇協賛 (予定) あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / UiPath株式会社 / 株式会社エイブル
株式会社ヴィエント / 株式会社グロリアツアーズ / タキロンマテックス株式会社
トヨタ自動車株式会社 / フットマーク株式会社 / プロメテウス財団
ミズノ株式会社 / 三菱商事株式会社
- ◇期 日 2023年1月9日(月祝)
- ◇会 場 千葉県国際総合水泳場
長水路50mプール(8レーンで競技実施) 水深2.0m
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-3-3 TEL 047-451-1555
- ◇競技方法 競技の組み方は、ダウン症選手のクラス、知的障害者・身体障がい・ろう者の選手のグループに分ける。種目別・男女別に行い、タイムレース決勝とする。
但し、参加人数により、合同レースを行う場合がある。
年齢による競技区分は行わない。
- ◇競技規則 WPS・FINA・2022年日本水泳連盟競泳競技規則に準じて行う。
- ◇競技種目
- | | | | | | | | |
|-----|------|------|-------|--------|------|------|------|
| 自由形 | 50m | 100m | 200m | 平泳ぎ | 50m | 100m | 200m |
| | 400m | 800m | 1500m | バタフライ | 50m | 100m | 200m |
| 背泳ぎ | 50m | 100m | 200m | 個人メドレー | 200m | 400m | |
- 今大会は、リレー競技を行わない。
- ◇標準記録 下記のとおり

◇表彰 ①実施しない。

②参加者全員に記録証を発行する。

◇参加資格 以下の①～⑧に該当する者のみ参加できる。

①2022年度日本知的障害者水泳連盟へ「選手登録」が完了している者。

②療育手帳を所持している者。※申請中の選手は医師の診断書を提出すること。

③2022年4月1日現在、小学5年生以上の者。

※一人で競技(ダウン、招集、更衣)ができる選手。

※競技中は、介助者は招集、更衣室、プールサイドへは入れません。

④医師の健康診断又は保護者の申告に基づき、健康上問題が認められない者。

⑤以下の水泳競技大会のいずれかにおいて別紙標準記録を突破している者。

<2021年度>

2021 ジャパンパラ水泳競技大会

第24回日本知的障害者選手権水泳競技大会

2021 東北パラ水泳選手権大会

2021年通信記録会(パラ水泳日本代表チーム応援企画)

2021年度中部記録会

Tokyo 2020 Paralympic Games

第24回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会

秋季東北水泳記録会

第38回日本パラ水泳選手権大会

第11回JSCA全国知的障害者水泳競技大会

第5回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会

2022パラ水泳春季記録会

第33回九州障がい者水泳選手権大会

第25回日本知的障害者選手権水泳競技大会

2022夏季東北パラ水泳選手権大会兼2022年度日本パラ水泳通信総合記録会

第29回中部障がい者水泳選手権大会

2022年度日本パラ水泳通信総合記録会 チャレンジスイムフェス in SHIGA

第39回日本パラ水泳選手権大会

第25回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会

2022秋季東北パラ水泳記録会 兼第3回岩手県パラ水泳記録会

※1種目標準記録を突破していれば、2種目目のエントリーは可。

ただし、エントリー全種目の記録は必ず入力すること。

⑥2022年4月1日以降に開催されたWPS公認大会

⑦2022年度の強化指定選手、育成選手に限り、3種目までのエントリーを認める。

※ただし、エントリー全種目の記録は必ず入力すること。

⑧(公財)日本水泳連盟公認水泳競技大会で別紙標準記録を突破している者。ただし、各種マスタートーズ協会の主催大会は認めない。

*参加資格⑧を適用の場合は記録を確認できる書類を本連盟にFAX(03-6229-5420)もしくは、メール(mousikomi@jsfpid.com)にて添付して送信すること。

◎身体障害者については(一社)日本パラ水泳連盟から推薦を受けた選手のみとする。

◎聴覚障害者については(一社)日本デフ水泳協会から推薦を受けた選手のみとする。

◇新型コロナウイルスに関する対策

- ①この大会は、無観客で行う。
- ②大会当日入館時にサーモグラフィによる検温チェックとマスクの着用、手指消毒を義務付ける。
検温は大会2週間前より行い、記録管理を行うこと(体温等チェック表は別紙)。
体温等チェック表は、受付時に提出すること。
提出しない場合は、入場ができません。
- ③本大会は、「感染拡大予防ガイドライン」を基に運営を行う。関係者は、事前に内容をよく確認すること。
- ④前日練習は行わない。
- ⑤表彰式は行わず、メダル授与も行わない。
- ⑥千葉県内の感染状況に変化が見られ、警戒レベルが引き上げられる等の措置が出された場合は、急遽大会の開催を中止することもある。

- ◇参加制限
- ①1人2種目とする(リレーは行わない)。
※必ず1種目は標準記録を突破していること。
 - ②強化・育成選手は3種目とする。

◇付添人数

個人登録選手

選手1名につき付添い者(介助者もしくはコーチ)が1名入場できる。

団体登録選手

選手1名につき1名の付添い者に加えて下記の通り、コーチも入場できる。

※選手1名～3名の場合：コーチ1名の付添いを可能とする。

選手4名以上の場合：コーチ2名の付添いを可能とする。

団体登録選手のコーチ申請は、専用申込画面より申請をすること。

※事前に申請した付添い者(介助者またはコーチ)のみ入場できる。

※付添い者(介助者またはコーチ)は招集、更衣室、プールサイドへは入れない。

ただし、ウォーミングアップの時間帯のみ、介助者・コーチはプールサイドに入ることができる。ウォーミングアップの時間帯については、エントリー締切り後、競技時間を計算の上、改めてホームページにてお知らせする。

※事前に申請した付添い者(介助者またはコーチ)のみ施設内に入ることができる。

◇費用	参加費	1種目	2,000円	(保険料含む)
	大会プログラム	1冊	800円	
	大会協賛金	1口	1,000円	

※何口でもご協賛いただけます。複数口でのご協賛をお願いいたします。

- ◇申込方法
- 日本知的障害者水泳連盟のホームページの申込マニュアルを確認し、デジエントリーから申し込むこと。
- パソコンエントリー操作に関する質問は、デジエントリーの事務局に問い合わせること。
TEL:0466-52-5488 (平日10:00~17:00)
- インターネット環境がない方、苦手な方は電話によるエントリーも可能。
- ※別途費用が掛かります。
- ※その他、競技に関する問い合わせは、日本知的障害者水泳連盟までFAXにて問い合わせること。
FAX:03-6229-5420

- ◇決定通知 郵送しない。
申し込み終了後、デジエントリーより返信通知が入る。
- ◇プログラム購入 大会プログラムの購入をご希望の方は、デジエントリーにてエントリー時に申込むこと。
当日の販売は行ないませんのでご注意ください。
- ◇水着規程 本大会の着用水着は、FINA 公認水着を着用すること。
- ◇監督者会議 監督者会議は行わない。(連盟ホームページにアップする。)
- ◇免責事項 参加者は主催者側で傷害団体保険に一括加入するが、大会中に生じた事故等にたいして大会本部は応急処置を行うが、その後の処置等については各自の判断で医師の診断を受けること。
したがって参加者は自己の責任において健康と安全に充分留意すること。
- ◇その他 ①本大会の成績は国際競技大会などの代表選手選考資料の一部とする。
②参加選手は、健康保険証の写しを持参すること。
③宿泊先の斡旋は行わない、各自準備のこと。
④ゴミは各自で持ち帰ること。
- ◇大会の問い合わせ先
(一社)日本知的障害者水泳連盟
2022 年度第 6 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会事務局
FAX 03-6229-5420

当大会は、香取慎吾NFTアートチャリティプロジェクト寄付金を活用して開催いたします。

標準記録（知的障害者）

競技種目		男子	女子
自由形	50m	1分00秒	1分20秒
	100m	1分45秒	2分30秒
	200m	3分30秒	5分00秒
	400m	7分00秒	10分10秒
	800m	—	18分00秒
	1500m	25分00秒	—
背泳ぎ	50m	1分10秒	1分30秒
	100m	2分00秒	2分50秒
	200m	4分10秒	5分40秒
平泳ぎ	50m	1分10秒	1分30秒
	100m	2分00秒	2分50秒
	200m	4分10秒	5分40秒
バタフライ	50m	1分00秒	1分20秒
	100m	1分45秒	2分30秒
	200m	3分30秒	5分00秒
200m個人メドレー		4分10秒	5分40秒
400m個人メドレー		7分30秒	9分00秒
競技順序			
午前の部		午後の部	
1.	400m 自由形	9.	400m 個人メドレー
2.	50m 自由形	10.	200m 自由形
3.	50m バタフライ	11.	100m バタフライ
4.	50m 背泳ぎ	12.	100m 背泳ぎ
5.	50m 平泳ぎ	13.	100m 平泳ぎ
6.	800m 自由形・女子	14.	100m 自由形
7.	1500m 自由形・男子	15.	200m バタフライ
8.	200m 個人メドレー	16.	200m 背泳ぎ
		17.	200m 平泳ぎ

*1500m自由形・男子、800m自由形・女子、400m個人メドレーについては標準記録にてレースを打ち切ることもある。